

富山県感染症発生動向速報

(2026年第25週分・6月15日～6月21日)

■今週の主な動向

○手足口病の報告数が7.17人/定点となり、警報開始基準を超えています。

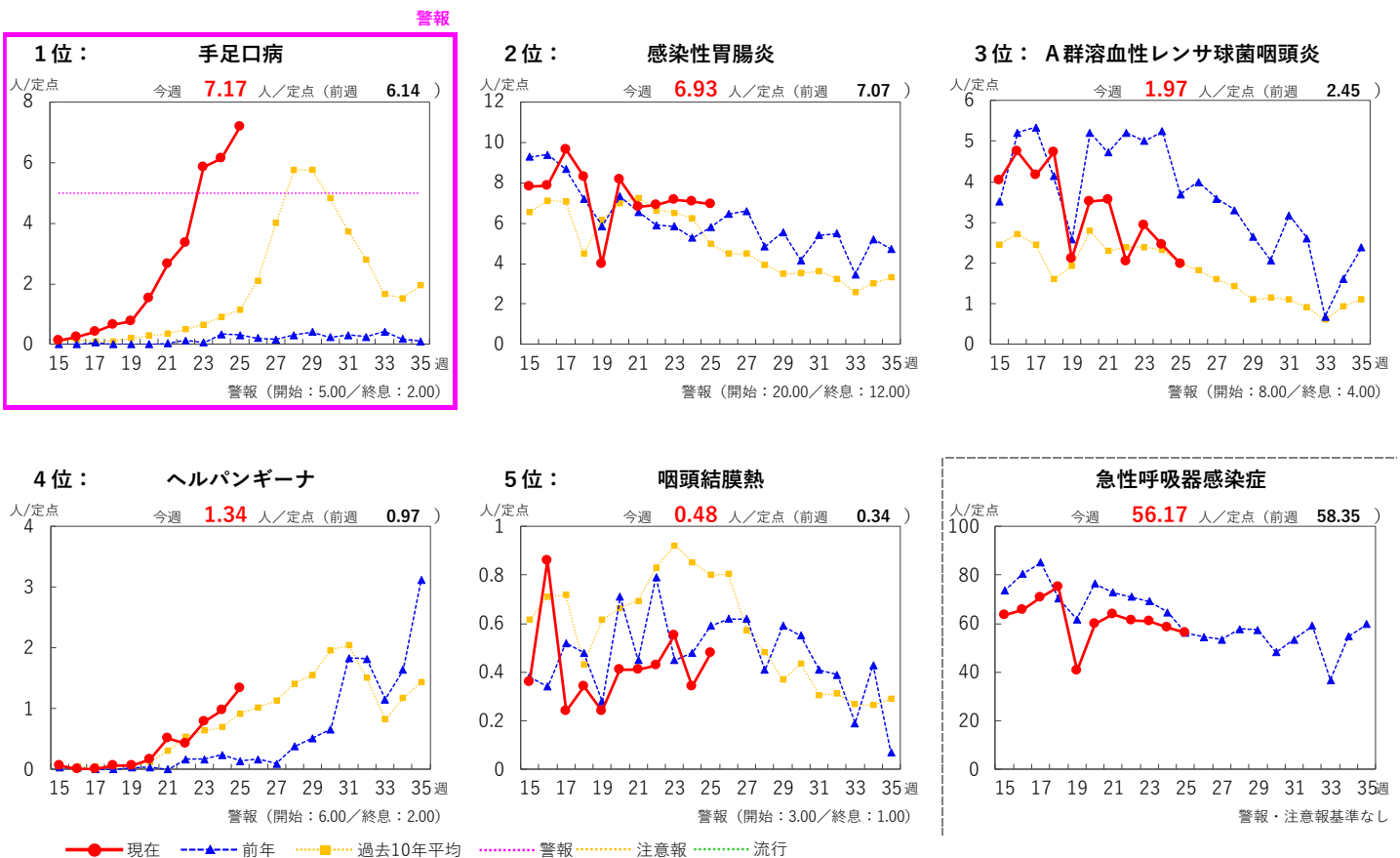
手足口病の報告数は今週7.17人/定点となり、第23週に警報レベル開始基準値（5.0人/定点）を超えてからも、増加が続いています。患者は2歳以下の乳幼児が中心です。特徴的な症状は、手のひらや足の裏、口の中の水疱を伴う発疹です。おむつ交換やトイレの後、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。（[第24週インフォメーション](#)参照）

○ヘルパンギーナの報告数が増えています。

患者の年齢は1歳が最も多く、5歳以下が患者の90%を占めています。特徴的な症状として、突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みがみられます。例年夏季に増える季節性があり、今後の動向に注意が必要です。（[2025年第30週インフォメーション](#)参照）

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症（第25週・6/15～6/21）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 4件 (①20歳代、女性 ②80歳代、男性 ③80歳代、女性 ④90歳以上、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳代、女性、O26、VT1)

四類感染症 レジオネラ症 2件 (①60歳代、男性、肺炎型 ②80歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 水痘 (入院例) 1件 (10歳代、男性)

麻疹 1件 (20歳代、男性)





県内で麻しん（はしか）患者が発生！ ワクチン接種歴の確認を！

《 インフォメーション 》

●麻しん

麻しんは、麻しんウイルスによる急性感染症であり、主な感染経路は空気感染です。極めて感染力が強いことが知られています。予防接種法に基づくワクチンの接種機会の追加等の取り組みにより、2009年以降、全国の麻しん患者報告数は大幅に減少しました（図）。この状況から、2015年にWHOは日本が麻しんの排除状態であると認定しました。しかし、排除認定後も海外からの輸入例や、輸入例からの感染事例が散発的に認められています。ワクチン未接種の小児だけでなく、10歳代～40歳代の方にも感染が拡がるのが問題となっています。

麻しん患者報告数は、2020～2022年には新型コロナウイルス感染症に対する水際対策等により減少しました。一方、対策緩和後の2023年以降は増加傾向となり、2025年は年間で265例、2026年は第24週時点で既に累積529例が報告されています。患者の中には、ワクチン未接種もしくは接種不明者が多く含まれています（[IDWR 2026年第20号<注目すべき感染症>麻しん、JIHS](#)）。

富山県内では、第25週までに2例の麻しん患者の報告がありました。いずれの症例も2回の予防接種歴が確認されています。今後、県内で更なる患者が発生する可能性があります。注意が必要です。

麻しんウイルスに感染すると、10～12日の潜伏期間の後、発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪症状が現れます。一旦熱が下がった後、全身に発疹が出現し、4～5日高熱が続きます。発疹出現の1～3日前に、頬の内側にコプリック斑という粘膜疹が見られるのも特徴です。肺炎・脳炎などで重症化することも多く、先進国でも1,000人に1人が死亡するとされています。風邪症状が出現する1日前から解熱後3日程度の期間は他人に感染させる可能性があります。

麻しんの感染拡大防止のため、次のことに注意しましょう。

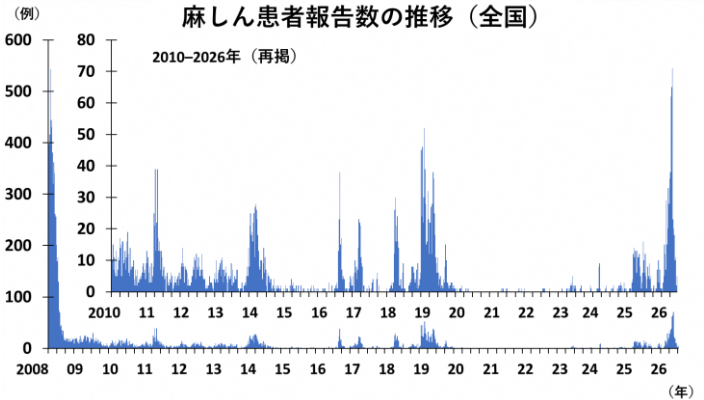
<医療機関の受診>

- 発熱や発疹等の症状から麻しんが疑われる場合は、あらかじめ電話で麻しんの可能性があることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。
- 受診時はマスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて、自家用車等で受診してください。

<ワクチン接種>

- 最も有効な予防法はワクチン接種です。発症予防・重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、2回のワクチン接種が重要です。
- 麻しん風しん混合ワクチン(MR ワクチン)は、「定期接種」として予防接種法で定められています。お子さんが定期接種の対象である1歳又は就学前1年間にある場合は、できるだけ早めの接種をご検討ください。
- 海外では、大きな流行が複数の国で報告されています。海外渡航される場合には、母子手帳などで予防接種歴を確認し、2回の予防接種を受けた記録がない場合は、あらかじめ予防接種を受けることを検討してください。
- 2000年4月1日以前に生まれた方は、2回の定期接種が行われていない可能性があります。母子手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は2回の接種記録が確認できない方は、かかりつけの医師にご相談ください。

(麻しん（はしか）に注意しましょう/麻しん含有ワクチン（MR ワクチン等）任意接種実施医療機関：富山県HP)



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第25週 2026年6月15日～2026年6月21日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）					累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1		2	1	4	2	2	11	5	27	47
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				2	1	3	2	1	3	5	18	29
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1	2		4		2	8
四類感染症	E型肝炎									1			1
	レジオネラ症		1	1			2	1	2	6	1	7	17
五類感染症	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	1	5	9
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		4	2	4	12
	水痘（入院例）			1			1	1		1		2	4
	多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
	梅毒							3	2	7		10	22
	破傷風											1	1
	百日咳							1				7	8
	麻しん					1	1					2	2
急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	176	182	849	272	1,217	2,696	7,869	7,197	27,000	7,670	34,116	83,852
		25.14	36.40	65.31	38.86	76.06	56.17						
	インフルエンザ	1				3	4	1,443	1,207	3,344	1,431	4,685	12,110
		0.14				0.19	0.08						
小児科定点 （29定点）	COVID-19		1	1		3	5	274	143	278	148	522	1,365
			0.20	0.08		0.19	0.10						
	RSウイルス感染症	1		1		1	3	29	11	126	28	102	296
		0.25		0.13		0.10	0.10						
	咽頭結膜熱	1	2	9		2	14	29	22	177		69	297
		0.25	0.67	1.13		0.20	0.48						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	23	4	24	57	139	185	1,313	215	1,209	3,061
		0.75	1.00	2.88	1.00	2.40	1.97						
	感染性胃腸炎	12	27	27	2	133	201	661	546	1,045	264	3,226	5,742
		3.00	9.00	3.38	0.50	13.30	6.93						
	水痘					5	5	3	15	37	9	93	157
						0.50	0.17						
	手足口病	3	6	75	14	110	208	7	52	379	44	359	841
		0.75	2.00	9.38	3.50	11.00	7.17						
眼科定点 （7定点）	伝染性紅斑							8	3	22	8	12	53
	突発性発しん		1	5	2	3	11	6	17	73	20	85	201
			0.33	0.63	0.50	0.30	0.38						
	ヘルパンギーナ		6	14	2	17	39	15	19	39	8	61	142
			2.00	1.75	0.50	1.70	1.34						
	流行性耳下腺炎					1	1	3		2	1	7	13
						0.10	0.03						
基幹定点 （5定点）	流行性角結膜炎							9	2	8	1		20
	細菌性髄膜炎											1	1
	無菌性髄膜炎							1					1
	マイコプラズマ肺炎					1	1	9		3	2	5	19
						1.00	0.20						
	クラミジア肺炎										2		2
入院サーベイランス （5定点）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2
	インフルエンザによる入院患者（※2）					1	1	55	41	49	40	102	287
	COVID-19による入院患者							18	16	7	11	58	110

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。